

お客様各位

株式会社日立ソリューションズ
Palo Alto Networks 製品ユーザーサポート

User-ID redistribution 機能に影響を与える中間 CA 証明書の期限切れについて

平素は Palo Alto Networks 製品ユーザーサポートをご利用くださり誠にありがとうございます。この度、Palo Alto Networks 社より、User-ID redistribution 機能にて使用している中間 CA 証明書の有効期限切れがアナウンスされましたので、以下の通りご連絡いたします。

1. 概要

PAN-OS が User-ID redistribution 機能※1にて使用している中間 CA 証明書が 2021 年 12 月 31 日に有効期限を迎えております。

次項にて影響対象機能をご利用されているかをご確認の上、3.対応策の実施をご検討ください。

※1 User-ID redistribution は自身が所持しているユーザーマッピング情報をネットワーク上の他 PA シリーズに再配布することができる機能です。

2. 影響対象の機能

PAN-OS にて User-ID redistribution 機能をご利用のお客様のみ、以下等の影響がございます。

- ・ Global Protect のログインが失敗する。
- ・ ポリシーにユーザのトラフィックが正しくヒットしない。

User-ID redistribution 機能のご利用有無は以下手順にてご確認ください。

【確認手順】

A) PAN-OS 10.X をご利用の場合

WebUI : [Device > データ再配信 > コレクタ設定]

上記項目にコレクタ設定がある場合は User-ID redistribution 機能をご利用されています。

B) PAN-OS 9.X をご利用の場合

WebUI : [Device > ユーザ ID > ユーザーマッピング >

PaloAltoNetworks User-ID エージェントの設定]

上記項目の「再配信」タブにコレクタ設定がある場合は User-ID redistribution 機能をご利用されています。

3. 対応策

コンテンツバージョン「8507」以降に証明書の更新データが含まれておりますので、コンテンツアップデートをご検討ください。

更新された証明書を使用するにはプロセスを再起動する必要があります。

ご利用の PAN-OS に応じて以下手順をご参照の上、プロセスの再起動を実施ください。

※メンテナンス時間等の影響が少ないタイミングでの実施をご検討ください。

A) PAN-OS 10.X をご利用の場合

以下 2 つのコマンドを実行ください。

```
CLI > debug software restart process distributord
```

```
CLI > debug software restart process user-id
```

B) PAN-OS 9.X をご利用の場合

以下のコマンドを実行ください。

```
CLI > debug software restart process user-id
```

User-ID コレクタ (サーバ) 側と User-ID Agent (クライアント) 側の接続ステータスは、以下 CLI コマンドにてご確認が可能です。2. 影響対象の機能：【確認手順】の設定ある機器が、User-ID コレクタ (サーバ) 側となります。

【User-ID コレクタ (サーバ) 側確認コマンド】

```
(10.x) CLI > show redistribution service status
```

```
(10.x) CLI > show redistribution service client all
```

```
(9.x) CLI > show user user-id-service status
```

```
(9.x) CLI > show user user-id-service client all
```

【User-ID Agent (クライアント) 側確認コマンド】

```
(10.x) CLI > show redistribution agent
```

```
(9.x) CLI > show user user-id-agent
```

以上